

=抗インフルエンザウイルス剤=
タミフル
は、益より害が大

タミフルは…

- インフルエンザの特効薬ではありません。
- インフルエンザ脳症※は防げません！
- 10代には、使用原則禁忌！
(厚生労働省、2007年3月指示)
- 小児、未成年者、高齢者など全年令で異常な副作用症状が現れる可能性が否定できません。

<死亡に至る病態事例等>

睡眠中の突然死・異常行動死・
呼吸異常後突然死・突然の心肺
停止・タミフル服用後のせん妄
・肺炎・肺血症・他

(年齢等でリスクの特異性があります。)

※インフルエンザ脳症など重症感染後の脳症の主
原因は、非ステロイド抗炎症剤系解熱剤が関与
していることが分かっています。

インフルエンザ

- インフルエンザワクチンには、インフルエンザ予防効果は証明されていません。群馬県前橋市医師会の大規模調査では、インフルエンザには「無効」ということが証明されています。
- 自然に治るかぜの一種インフルエンザには、症状緩和を一日早めるために、まれとはいえ、死ぬかもしれない「タミフル」を使うのではなく一定期間安静にしていれば治ります。

(日本のタミフル使用量は、世界最大で事故死の数も突出しています。)

- 今迄インフルエンザの症状軽減に、主にタミフルが使われてきましたが、その効果は“熱が1~2日早く下がる”だけ。
(インフルエンザの症状が出てから48時間以内に飲みはじめれば)
- 一方害作用としては、死亡例を含む左記の作用が明らかになっています。
- この事実を重く受け止め、タミフルを使用しない医師や医療機関が増えてきています。

だいじょうぶ
しっかり休養すれば
治るわよ！

